

2019年度事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2019年度活動テーマ

三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション ーヒーブ視点の実践ー

今年度は、上記活動テーマのもと以下の内容を中心に活動を行った。

1. 将来をデザインし、共に創る「デザイン型共創社会」を見据え、ヒーブがリーダーとして発信していくことを意識しながら活動した。その一つとして、内閣府、男女共同参画推進連携会議と共催シンポジウムを開催し、東京・関西・九州の一体感醸成と協議会の認知度向上に寄与した。
2. 研究会推進グループは、活動テーマや会員ニーズを反映した月例研究会を企画・運営した。会員の能力・資質向上とネットワーク醸成を目的に、公開講演会（2回）、セミ講演会（5回）、企業見学会（1回）、会員交流会（2回）等を実施した。1月度月例研究会は、九州、関西で実施した内閣府との共催シンポジウムの報告会と位置付けた公開講演会を実施し、協議会活動の周知に寄与した。
3. 組織の活性化を図るグループは、協議会の円滑な運営に向けた定款施行規則の改定と会員拡大に向けた活動（企業訪問・説明、公開講演会の案内、月例研究会の体験参加等）を積極的に展開した。また、G20 消費者政策国際会合や文科省消費者教育フェスタなどに積極的に出展し、当協議会への理解を深めていただくための活動をおこなった。
4. 広報グループは、協議会の価値・認知度を高めるため、定例活動、講演活動、表彰・マスコミ掲載等を、ホームページや Facebook 等を活用し効果的に発信した。1年間の活動については、広報誌「レポートヒーブ」に取りまとめ、会員企業へのフィードバックをはじめ、協議会の認知度向上や会員拡大に向けた情報発信に寄与した。
5. 調査グループは、「調査・生活者関連情報分科会」をマネジメントし、40周年記念誌の深堀から、メンバーが所属するそれぞれの業界の現在、将来について議論し、気づきを共有した。また、『第4期消費者基本計画の構成（案）』に関する意見募集について、『第4期消費者基本計画（案）』に関する意見募集について』を検討・提出し、協議会としての意見を発信した。
6. 関西支部は、会員全員による月例研究会運営を通じ、会員個々のスキルアップとネットワークの構築に努めた。また、内閣府、男女共同参画推進連携会議とシンポジウムを共催し、東京・関西・九州と連携した情報発信を行うとともに、関西の強みとも言える行政・関連団体・大学等との連携も強化した。
7. 九州支部は、生活者、企業そして行政が三位一体となり、持続可能な社会実現への貢献を意識したヒーブ視点のセミナー等を実施。また、九州の未来を三位一体で共創することを目的に、内閣府、男女共同参画推進連携会議とシンポジウムを共催する等、会員相互のコミュニケーションの深化を図る活動やスキルアップ研修等、活力ある組織づくりへと繋がる取組みに尽力した。
8. 行政の委員会や会議、自治体・大学での講演について、理事を中心に積極的に派遣した。（計35回）
9. 事務局については、例年に引き続き運営費を抑えて、活動費を確保する等、業務の効率化を推進し、会員活動を充実させるべく最適化を図った。

年間テーマにもとづいて月例研究会・分科会を開催し、会員が協議会の運営や研究活動に主体的に携わることで、東京・関西・九州が一体感を持って活動することができた。

2019年度代表理事 梶原 織梨花

I. 2019年度事業実績

【グループ活動（東京本部）】

1. 企画グループ

代表理事の諮問機関として、協議会運営が円滑かつ効果的に行われるよう努めるとともに、行政・他団体等と積極的な情報交換を行い。協議会の活動を社会にアピールした。

(1) 理事会の開催

理事会	4月19日(金)	5月14日(火)	6月6日(木)
	7月4日(木)	8月6日(火)	9月3日(金)
	10月4日(金)	11月7日(木)	12月11日(水)
	1月9日(木)	2月6日(木)	3月6日(金)
準備理事会	3月26日(木)		

(2) 生活者・企業・関連団体等への情報発信

協議会が作成した冊子等を活用し、生活者・企業・行政の目指すべき方向性や具体アクションについて、講演会やSNS等を通じ情報発信を行った。

(3) 行政・関連団体等が主催する行事への参画

以下のとおり、行政の委員会や会議、関連団体のシンポジウム等へ、理事・監事が中心に参画した。

実施日	内容	主催	エリア	出席者
4月17日(水)	男女共同参画推進連携会議	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江
5月24日(金)	青消研月例会「ヒーブはいま！」	青消研	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 鈴木聖子
5月27日(月)	令和元年度消費者月間シンポジウム・懇談会	消費者庁	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 吉村美衣子 理事 藤脇智恵子 理事 篠かおり 九州支部長 難波裕扶子 監事 脇田真知 東京会員 宮木由貴子 特別会員 蟹瀬令子
5月28日(火)	令和元年度消費者支援功労者表彰表彰式	消費者庁	東京	特別会員 蟹瀬令子
6月21日(金)	ACAP福岡例会	消費者関連専門家会議	九州	九州支部長 難波裕扶子
6月23日(日)	NACS西日本支部のつどい	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	関西	関西副支部長 木谷あゆみ
6月25日(火)	平成30年度男女共同参画づくりに関する懇談会	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江
7月2日(火)	消費者志向経営推進組織運営会議	消費者庁	東京	副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村さやか
7月26日(金)	消費者庁長官就任ご挨拶	消費者庁	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村さやか 副代表理事 吉村美衣子
9月4日(水) ～6日(金)	G20 消費者政策国際会合	消費者庁	徳島	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 吉村美衣子 理事 丹野富美恵 九州支部長 難波裕扶子 監事 脇田真知

10月23日 (水)	消費科学センター創立50周年 シンポジウム	消費科学センター	東京	副代表理事 鈴木聖子
10月28日 (月)	第26回消費者教育推進会議	消費者庁	東京	理事 藤脇智恵子
10月28日 (月)	男女共同参画推進連携会議全体会議	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江
11月11日 (月)	第27回消費者教育推進会議	消費者庁	東京	理事 藤脇智恵子
11月17日 (日)	全相協関西支部シンポジウム	全相協	関西	関西特別会員 川口徳子
12月10日 (火)	消費者問題懇談会	NACS西日本	関西	関西副支部長 木谷あゆみ
1月14日(火)	消費者教育フェスタ in 長崎	文部科学省	九州	理事 藤脇智恵子
1月15日(水)	ACAP賀詞交歓会	消費者関連専門家会議	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 吉村美衣子 理事 篠かおり 関西副支部長 木谷あゆみ
1月16日(木)	ACAP西日本支部賀詞交歓会	消費者関連専門家会議	関西	関西支部長 松島知子
1月23日(木)	消費者関係団体と 商務・サービスグループとの懇談会	経済産業省	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 吉村美衣子
1月24日(金)	日経SDGsフォーラム 消費者と つくる未来「消費者志向経営」	日本経済新聞社、日経BP	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 監事 脇田真知
1月27日(月)	消費者教育フェスタ in 高松	文部科学省	関西	パネル出席
2月6日(木)	消費者志向経営推進組織運営会議		東京	副代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子
2月6日(木)	消費者教育フェスタ in 福井	文部科学省	関西	パネル出席
2月11日(火)	消費者教育フェスタ in 秋田	文部科学省	東京	理事 藤脇智恵子
2月17日(金)	2020消費志向経営トップセミナー	消費者関連専門家会議 日本経済団体連合会 消費者庁	東京	代表理事 梶原織梨江 理事 藤脇智恵子 九州支部長 難波裕扶子 監事 脇田真知
2月25日(火)	2019年度全国消費者フォーラム (開催中止のため資料提供のみ)	国民生活センター	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 吉村美衣子 九州支部長 難波裕扶子 監事 脇田真知
3月19日(木)	内閣府男女共同参画推進連携会議 第1回「経済チーム会」会合	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 吉村美衣子
3月30日(月)	第28回消費者教育推進会議	消費者庁	東京	理事 藤脇智恵子

(4) 令和2年度消費者支援功労者表彰等候補者の推薦

消費者支援功労者表彰等候補者の推薦団体として、正会員に対し、消費者支援に貢献している個人・団体を公募し、消費者支援に貢献した個人・団体の推薦について幅広く検討を行った結果、2019年10月に推薦手続きを行った。

(5) 行政機関との連携

- ・消費者庁とは、消費者志向経営推進組織メンバーとしての活動、東京ならびに関西支部の月例研究会における消費者白書の解説（消費者調査課）ならびに消費者基本計画の解説（消費者政策課）、9月4日～6日に徳島で開催されたG20消費者政策国際会合への参加、消費者教育推進会議への理事派遣等、継続的な連携を行っている。
- ・内閣府とは、男女共同参画推進連携会議議員としての参画、「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」を通じた内閣府、男女共同参画推進連携会議とのシンポジウム共催等を通じ、連携を深めている。
- ・経済産業省とは、今年度も商務・サービスグループとの懇談会に参加し、意見交換を実施した。

- ・文部科学省とは、消費者教育フェスタへの出展を通じ、協議会活動を発信することができた。

(6) 税理士訪問・相談

10月11日、3月18日に染谷税理士を訪問し、会計および事業活動の進捗状況を報告し、会計の適正運用について確認・相談を実施した。

2. 研究会推進グループ

会員の能力・資質の向上およびネットワーク醸成に向け、以下の取り組みを通じて会員の積極的な参画意識を高め、協議会活動のメリットを実感するとともに、会員相互のコミュニケーション強化・支援を図った。

(1) 2019年度(第17回)総会・公開講演会・情報交換会の運営

新体制での新たなスタートを迎えるべく、会員や会員上司・同僚、行政等の方々をお迎えし公開講演会・情報交換会を行った。

<公開講演会・情報交換会詳細>

開催日：4月19日(金)

会場：都市センターホテル

司会：(公開講演会) 雨宮絵歩 富国生命保険(相)

(情報交換会) 岡本有可 日本ハム食品㈱

参加者：公開講演会 109名 情報交換会 96名

テーマ：花王の消費者志向経営と日本ヒーブ協議会への期待

講師：花王株式会社 常勤監査役 青木秀子氏

(2) 月例研究会の運営

- ・活動テーマにもとづき、①公開講演会(4月・8月・1月)②セミ講演会(7月11月・12月・2月)③企業見学会(9月)④会員交流(5月・10月)等のテーマを選定し、会員ニーズを反映しながら講演内容の充実を図った。
- ・会員外へのヒーブ活動の周知を目的とし、月例研究会のFBを作成し、即日発信した。
- ・協議会活動への周知を目的とし、一般の方も参加できる公開講演会を適宜実施した。
- ・会員間の情報共有を目的とし、分科会持ち回りで月例研究会のレポートを作成し、ホームページで発信した。
- ・会員間の情報共有を目的とし、講演の動画撮影を実施し、次年度中に会員へ展開できるよう活動を行った。
- ・業務効率化を図り、参加者アンケートのWeb化し、紙のアンケートを会員のみ廃止した。

【月例研究会詳細】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	5月17日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	5月度月例研究会	◆2019年度運営体制説明会 キックオフミーティング ◆会員交流茶話会	運営体制説明 39名 茶話会 33名
2	6月28日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	6月度月例研究会	◆分科会活動 キックオフミーティング ◆セミ公開講座 ①「第4期消費者基本計画」進捗状況について 講師：消費者庁 消費者政策課長 内藤茂雄氏 ②「令和元年版 消費者」について 講師：消費者庁 消費者調査課長 太田哲生氏	分科会 40名 セミ公開講座 80名

3	7月23日(火) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	7月度月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 ①消費者支援功労者表彰受賞記念講演会 講師：レナ・ジャポン・インスティテュート(株) 代表取締役 蟹瀬令子氏 ②新たな未来を創る～メルカリが目指す世界～ 講師：(株)メルカリ 社長室 政策企画 伊藤亮太氏	分科会 31名 セミ公開講座 44名
4	8月23日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	8月度月例研究会	◆分科会活動 ◆公開講演会 ワタシから始めるオープンイノベーション ～日本の未来の創り方～ 講師：内閣府 知的財産戦略推進事務局 バリューデザイナー 宇津木達郎氏 グラフィック コミュニケーター 本園大介氏	分科会 32名 公開講演会 42名
6	9月26日(木) グリコピア CHIBA	9月度月例研究会 (企業見学会)	◆見学先：グリコピア CHIBA ◆講演 わくわくできる工場見学 ～グリコピア CHIBA における「魅せる工場見学」の取組み 講師：グリコピア CHIBA 館長 吉村貴宏氏	企業見学会 33名
7	適宜	10月度月例研究会	◆集中分科会 ※分科会毎に開催日・場所を設定	調査・生活 12名 お客様対応 7名 月例会企画 11名 商品サービ 12名
8	11月13日(水) 第一生命保険(株) 日比谷本社	電話応対技能検定 (もしもし検定)	◆電話応対技能検定(もしもし検定)4級 第一部 ビジネスコミュニケーションスキルアップセミナー 講師 日本ハム(株)お客様サービス部 山下みどり氏 第二部 話応対技能検定(もしもし検定)4級	受験者 12名
9	11月22日(金) 第一生命保険(株) 日比谷本社	11月度月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 「人生100年時代の“幸せ戦略”」セミナー ～人生100年時代を支える「3つの人生資産」「ライフデザイン3.0」とは?～ 講師：(株)第一生命経済研究所 調査研究本部・ライフデザイン研究部 主席研究員 宮木由貴子氏	分科会 32名 セミ公開講座 36名
10	12月10日(火) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	12月度月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 永く選ばれ続けるブランドになるために、“お客様と繋がる”ファンづくりの進め方 講師：カゴメ(株) マーケティング本部広告部宣伝グループ課長 水野慎也氏	分科会 32名 セミ公開講座 36名
11	1月29日(水) 丸の内MYPLAZAホール	1月度月例研究会	◆公開講座 これからの男女共同参画社会に向けて～「リレーシンポジウム男女共同参画社会の共創～生活者・企業・行政で創る九州/関西の未来～」のご報告～ 講師：内閣府男女共同参画局 調査課長 黒木理恵氏 モデレーター：九州大学大学院統合新領域学府客員准教授 NPO 法人日本ファシリテーション協会フェロー 加留部貴行氏	公開講演会 54名
12	2月14日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	2月度月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 顧客の心をつかむカスタマーメール 講師：(株)コラージュ 代表取締役 加藤靖子氏	分科会 27名 セミ公開講座 36名
13	3月13日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	3月度月例研究会	開催中止	

(3) 分科会の運営

- ・毎月の分科会活動では、下記4つの研究テーマに分かれ、異業種交流の特徴を活かした情報交換や議論を

積極的に行った。

- ① お客様対応を考える分科会
- ② 調査・消費者関連情報分科会
- ③ 商品・サービス研究分科会
- ④ 月例会企画・運営分科会

3. 組織の活性化を図るグループ

協議会の基盤整備ならびに会員の積極的な活動参画に向けて以下の活動に取り組んだ。

(1) 2019年度(第17回)総会の運営

役割		担当
司会	総合司会	浅野結花 日本ハム食品(株)
	情報交換会司会	雨宮絵歩 富国生命保険(相)
議長団	議長	吉川育恵 西川(株)
	書記	鈴木美佐子 (株)明治
報告者	2018年度事業報告	2018年度代表理事：梶原織梨江 日本生命保険(相)
	2018年度決算報告	2018年度会計：藤脇智恵子 第一生命保険(株)
	監事による事業及び会計監査報告	監事：脇田真知(一財)サンスター財団 監事：林真由美 アサヒビール(株)
	2019年度役員選任	選挙管理委員長：宮木由貴子(株)第一生命経済研究所
	2019年度事業計画	2019年度代表理事：梶原織梨江 日本生命保険(相)
	2019年度予算計画	2019年度会計：中村さやか 花王(株)

(2) 会員の管理と拡大

- ・会員拡大に向けて積極的な取り組みを行った。月例研究会や講演会を戦略的に活用し、会員企業以外の聴講者を募り、当日およびその後のフォローを行った。
- ・異業種交流のメリットを活かすため、6月に会員名簿の情報更新を行った。併せて、会員の保有資格や特技等の調査を行い、会員の推薦・講師派遣に向けての会員データ構築を継続した。

(3) 会員継続および新規加入への働きかけ

- ・協議会の活動について説明し、会員継続および新規加入等の働きかけを積極的に行った。
- ・総会やシンポジウムに参加いただいた企業を中心に、新規加入に向けたフォローを行った。
- ・(賛助) 会員企業に対して、活動への理解を得て継続を依頼した。

(4) 定款施行規則の改定

- ・定款施行規則第3条(会費) (2)個人会員の特典を実情に合わせて修正し、定款施行規則(第18版)を2019年7月4日に発行した。

(5) 交流会の開催

- ・東京本部、関西支部、九州支部で一律に交流会費の予算計上を行い、会員同士の交流機会を提供した。
- ・東京本部では、月例研究会等にあわせて、分科会別交流会を1回、全体交流会を1回(3月)実施した。

(6) 会員へのガイダンス

協議会に関する会員の理解を深める目的で、5 月度月例研究会のキックオフミーティングにおいて、協議会の概要、活動テーマ、スケジュール等を代表理事より説明した。

(7) 理事会だよりの発行

理事会の議題の中からトピックスをまとめ、会員に報告した。

(8) 理事・監事選挙

- ・2020 年度役員選出のための選挙管理委員会を発足させ、選挙活動が滞りなく進むよう補佐した。

【選挙管理委員会】

	支部	氏名	会社名
委員長	東京	宮木由貴子	(株) 第一生命経済研究所
委員	東京	三田まり子	(株) 販売促進研究所
委員	九州	花田 泉	クリエイティブオフィスビーンズ

- ・選挙の結果、代表理事候補者 1 名、留任理事候補者 7 名、新任理事候補者 2 名、新任監事候補者 1 名が信任された。

4. 広報グループ

協議会の価値・認知度を高めることを目指し、以下の広報活動に取り組んだ。

(1) 「レポートヒーブ」「What is HEIB?」の発行

機関誌「レポートヒーブ」を発行し、1 年間の活動報告を行った。また、「What is HEIB?」を更新し、会員だけでなく非会員企業への PR に活用することができた。

(2) ホームページ・Facebook の運営

より効果的かつタイムリーな情報発信を目的に、ホームページと Facebook を活用して協議会の認知度向上や会員拡大に向けて取り組んだ。

<ヒーブ NEWS・お知らせ発行（ホームページ）>

【タイトル】

<2019 年 5 月 23 日>特別会員の蟹瀬玲子さんが、令和元年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました

<2019 年 10 月 7 日>【教えてヒーブ】知っておきたい生活情報を紹介！（なるほど！暮らしシリーズ Vol.1 1PET 飲料、開けたらいつまで飲める？）

<2019 年 10 月 21 日>【教えてヒーブ】知っておきたい生活情報を紹介！（なるほど！暮らしシリーズ Vol.2 「まぜるな危険」とは？）

<2019 年 12 月 6 日>【教えてヒーブ】知っておきたい生活情報を紹介！（なるほど！暮らしシリーズ Vol.3 ドライクリーニングってなあに？）

(3) 講演会等

以下のとおり、関西支部を中心に自治体・大学への講演会等へ講師を派遣した。

実施日	主催	講演テーマ	講師
6 月 13 日(木)	関西学院大学 経済学部	関西学院大学経済事情 E「市場経済と消費者問題」第 9 回 企業と生活者をつなぐ ～消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて～	関西副支部長 木谷あゆみ

6月15日(土)	特定非営利活動法人消費者ネット関西 設立20周年記念シンポジウム	パネルディスカッション 「消費者と事業者の対話の必要性と消費者団体の役割」	関西支部会員 川口徳子
9月14日(日)	大阪府消費生活センター	大学生期における消費者教育推進事業 消費者教育リーダー養成講座 応用講座「消費者教育の基礎理解②企業活動からみる」 企業の消費者教育活動について 「お客様の声を活かした企業の取り組み」	関西支部会員 川口徳子
10月6日(日)	日本消費者教育学会	日本消費者教育学会 第39回全国大会 産学連携の食育授業を通じてのキャリア教育の可能性と課題 ～高等学校の家庭科の授業での実践より～	特別会員 川口徳子
12月16日(月)	神戸市 神戸学院大学	神戸学院大学「現代の社会(消費者問題)」第12回 企業と生活者をつなぐ ～消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて～	関西副支部長 木谷あゆみ

<出版物・印刷物>

名称	発行年月	発行部数	内容
レポートヒーブ 78号	2020年4月	1,000	東京・関西・九州の会員コメントや写真を掲載し、当協議会の年間活動報告をわかりやすく紹介
What is HEIB?	2020年4月	1,000	当協議会の活動内容や入会案内等を掲載

<マスコミ等記事掲載【所信表明関連】>

新聞名・誌名	社名・団体名	掲載日	タイトル
消費と生活 (No345)	(株)消費と生活社	2020年1・2月号	「年頭所感」代表理事 梶原織梨江
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2020年1月1日号	「年頭所感」代表理事 梶原織梨江
日本消費経済新聞	日本消費経済新聞社	2020年1月1日号	「年頭所感」代表理事 梶原織梨江 関西支部長 松島 知子

<マスコミ等記事掲載【その他】>

新聞名・誌名	発行者	掲載日	タイトル
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2019年5月1日号	「ヒーブ総会・講演会」
週刊食肉通信	食肉通信社	2019年6月25日号	「カードで学ぶSDGsの意義」 九州支部長 難波裕子
朝日新聞福岡県版	朝日新聞社	2019年12月7日	「女性の役割分担見直す必要」 リレーシンポジウム
消費と生活 (No.351)	(株)消費と生活社	2019年1.2月号	男女共同参画社会の実現に向けて 福岡市と大阪市でリレーシンポジウム
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2019年1月1日号	日本ヒーブ協議会「男女共同参画」めぐりシンポ 内閣府などと連携

5. 調査グループ

今年度は、40周年記念誌でヒーブが描いた将来の「社会変化にともなう業態構造変化」を深堀するために、分科会メンバーが所属する業界の過去から現在、将来（5年後10年後）における社会からの要望・課題の変化、またその対応について発表し、全員で議論をしながら新たな気づきを共有した。

また、「『第4期消費者基本計画の構成(案)』に関する意見募集について」、「『第4期消費者基本計画(案)』に関する意見募集について」を検討・提出し、協議会としての意見を発信した。

(1) 活動形態

「調査・生活者関連情報分科会」として活動を行った。

(2) 活動内容

実施	内容
5月	分科会キックオフミーティング（年間活動計画発表）
6月	オリエンテーション ・今年度の分科会活動予定の確認・検討
7月	業界共有①（損害保険、シンクタンク）
8月	業界共有②（砂糖、健康）
9月	「『第4期消費者基本計画の構成（案）』に関する意見募集について」の検討、提出
10月	集中分科会 業界共有③（化学・化粧品、プラスチック等、乳製品、食品、食品（表示））
11月	業界共有④（パン、製粉）
12月	分科会活動報告の検討①
1月	「『第4期消費者基本計画（案）』に関する意見募集について」の検討、提出
2月	分科会活動報告の検討②
3月	分科会活動報告

【支部活動】

1. 関西支部

今年度の活動テーマにもとづき、公開講演会・月例研究会・企業見学会を通じて、会員が将来を見据えて次の行動を考え、より良い消費社会を描けるような活動に取り組んだ。

1月には、内閣府、男女共同参画推進連携会議との共催で「男女共同参画社会の共創～生活者・企業・行政で創る関西の未来～」をテーマにリレーシンポジウムを実施した。12月に開催した九州と同様、第1部では、「多様な選択を可能にする学び～令和元年版男女共同参画白書より～」をテーマとした基調講演、第2部では、企業、行政、学生という多様な立場の方々に登壇いただきパネルディスカッションを行った。参加者からは、「白書のデータがとても興味深かった。学びの場の可能性、重要性をあらためて理解した」「多様な立場からの意見が聞けて参考になった」など好評を得た。

月例研究会での講演会や企業見学会では、実際に見たり触れることができる体験型、実際に参加できるワークショップ型が好評であり、様々な企業事例や社会課題について学ぶ機会を提供した。

運営面においては、会員全員で役割分担を行う全員運営体制により、当協議会の強みである異業種ネットワークを活用しながら、企画・遂行力、組織運営力、課題解決力等、会員一人ひとりのレベルアップ・キャリアアップにも貢献することができた。

ヒーブ視点での消費者教育では、「産・官・学・消」の産業界の立場から、大阪府・兵庫県等関西支部エリアの各地で積極的に講義を実施した。

【関西支部理事】

支部長 松島知子 住友生命保険（相）

副支部長 木谷あゆみ イカリ消毒（株）

<活動実績>

(1) 月例研究会活動

①月例研究会

- ・ヒーブとして求められる資質（現状把握力・問題発見力・判断力、問題解決力・プレゼンテーション力等）

と能力の向上を目指し、講演会、企業見学会、スキルアップセミナーをバランスよく実施した。

- ・5月の公開講演会、1月の内閣府、男女共同参画推進連携会議共催セミナーにおいては、上司・同僚や他団体から、多くの方に参加いただき、協議会への理解を深めていただくとともに、交流の機会を創出した。

②運営制度

- ・例年通り全員運営を行うにあたり、理事が中心となって、マニュアルの見直しや雛形の作成等の運営改善を年度初めに行った。
- ・次年度以降の活動に反映できる仕組みづくりと、運営効率化を目的に会員からも多くの提案を募った。

③月例研究会の記録

- ・月例研究会については、開催レポートやアンケート結果等を会員へ報告し、研究会活動で得た情報の共有・定着を図った。

④会員交流

- ・ふれあいランチや情報交換会の場を活用し、会員同士やヒーブ OG らとの交流を深め、異業種交流の場として有効に活用した。

【月例研究会・公開講座詳細】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	5月21日(火) 大阪市中央公会堂	関西支部大会 公開講演会 情報交換会	◆ガイドンスミーティング ◆関西支部大会 ◆公開講演会「人を活かす経営」 (株)ふくや 代表取締役会長 川原正孝氏 ◆情報交換会	ガイドンスミーティング 8名 支部大会 20名 公開講演会 58名 情報交換会 42名
2	6月19日(水) 第一生命保険 (株)	6月度月例研究会	◆ふれあいランチ ◆会員お仕事紹介 ◆月例研究会運営マニュアル読み合わせ	ふれあいランチ 10名 お仕事紹介 11名
3	7月17日(水) 日本生命保険 (相)	7月度月例研究会	◆「令和元年版消費者白書について」「消費者庁における消費者志向経営の推進取組みについて」 消費者庁 参事官(調査・物価等担当)付参事官補佐(調査担当) 仙北由美氏 消費者庁 参事官(調査・物価等担当)付事業者連携担当主査 森本幸江氏 ◆日本生命コールセンター見学 日本生命保険相互会社 お客様サービス部 消費者室課長 江口晃代氏	講演会 32名 見学会 24名
4	8月22日(水) ヤマト運輸 関西ゲートウェイ	8月度月例研究会 企業見学会	◆「バリュー・ネットワーキング構想・全員経営におけるお客様サービスの在り方」 ヤマト運輸株式会社 関西支社 ソリューション営業マネージャー 西林貴之氏	見学会 28名
5	9月18日(水) 日本ハム(株)	9月度月例研究会 スキルアップセミナー	◆「体験型学習を通して、SDGsを学ぼう」 ブルーオーシャン キャリア・コンサルティング 村松賢一氏	講演会 30名
6	10月2日(水) 農林水産消費安全 技術センター(神戸センタ ー)	10月度月例研究会 企業見学会	◆「食品表示監視業務について ～科学の目で食品表示のウソをあばく～」 農林水産消費安全技術センター 神戸センター 表示指導課 課長 松岡高広氏	見学会 19名

7	11月26日(火) OMMビル	ACAP・ヒーブ 合同月例研究会 情報交換会	<p>◆講演1「ニッセイ コールセンターの取組」 日本生命保険相互会社 お客様サービス部 コールセンター長 大寺純子氏 日本生命保険相互会社 お客様サービス部 消費者室長 花田 昌士氏</p> <p>◆講演2「自分らしく社会とつながる～大阪サクヤヒメ 賞に寄せて～」 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 理事・本部長 仁科あゆ美氏</p> <p>◆情報交換会</p>	講演会 13名 情報交換会 9名 (ヒーブ側のみ)
9	1月17日(金) 日本生命保険 (相) 本店東館ホール	国・地方連携会議ネット ワークを活用した男 女共同参画推進事業 リレーシンポジウム 男女共同参画社会の 共創 ～生活者・企業・行政 で創る関西の未来～	<p>◆公開講演会「多様な選択を可能にする学び～令和元年版 男女共同参画白書より～」 内閣府男女共同参画局 調査課長 黒木理恵氏</p> <p>◆パネルディスカッション 「関西の男女共同参画社会に向けて」 パネリスト： 株式会社「スマリーメイド」事業部 事業部長 梶原千左氏 NPO 法人スマセラ 会長理事 田中喜陽氏 兵庫県議会議員 中島かおり氏 内閣府男女共同参画局 調査課長 黒木理恵氏</p> <p>モデレーター： 九州大学大学院統合新領域学府客員准教授、NPO 法人 日本ファシリテーション協会フェロー 加留部貴行氏</p>	シンポジウム 139名
10	2月19日(水) (株)ダスキン本 社	2月度月例研究会	開催中止	—
11	3月18日(水) 住友生命保険(相)	3月度月例研究会 スキルアップセミナー	開催中止	—

(2) 広報活動

他団体・行政・大学・日本消費者教育学会との交流や、関連団体等と協働しながら当協議会の情報発信や消費者教育活動等を行った。

(3) 組織活動

① ガイダンスミーティング

5月支部大会時に新入会員を対象にガイダンスミーティングを実施し、当協議会についての理解を深めた。

② 振り返り

今年度の活動や運営について良かった点と改善点についてのアンケートを実施し、会員の負担軽減に向けた改善を行った。

③ 情報交換会

5月支部大会、11月ACAP・ヒーブ合同月例において情報交換会を、6月度月例研究会において情報交換(ふれあい)ランチを開催し、会員間および他企業・関連団体との交流を図った。

③ お仕事紹介

6月度月例研究会で「お仕事紹介」を実施し、会員同士の仕事内容への理解を深めた。

(4) 行政・関連団体の主催する行事等への参画、講演会への講師派遣

行政の委員会・会議、関連団体のシンポジウムへの参加、自治体・大学の講演会等へ講師を派遣した。

詳細については、【グループ活動】1. 企画グループ(3)、4. 広報グループ(3)を参照。

(5) 今後の課題

- ① 運営において会員の負担が増えないよう、アンケートとレポートの簡素化をすすめる
- ② 月例研究会の開催日は年度初めに年間計画を策定し、参加率の向上を目指す
- ③ 年度の最初に、会員お仕事紹介や情報交換ランチの実施とマニュアル等の運営方法の共有を行い、会員同士の連携強化を図る
- ④ ヒーブOG宛に公開講演会やシンポジウム等を案内し、参加者数向上と会員拡大を図る

2. 九州支部

今年度の活動テーマにもとづき、複眼的でサステナブルな視点を持った生活者・企業人となるための能力・意識開発に繋がる活動や、持続可能な地域社会の実現に向けた活動に取り組んだ。

月例研究会やヒーブセミナーの運営においては、会員が無理なく参加できるよう運営の効率化を図り、スキルアップだけでなく相互のコミュニケーションを深め、少人数ながら活力ある組織づくりを進めた一年であった。

6月のSDGsを体感する公開講演会から活動をスタートし、12月の共催事業では、理事・監事の協力のもと大阪とのリレーシンポジウムを行い盛会に終えることができた。第1部（基調講演）、第2部（パネルディスカッション）ともに参加者の満足度が高く、男女共同参画・ダイバーシティについて九州の生活者・企業・行政と一体となった意識改革を図ることができた。

【九州支部理事】

支部長 難波裕扶子 南日本ハム（株）

<活動実績>

(1) 公開講座・ヒーブセミナー

①公開講演会

6月：2030SDGsカードゲームを用いて、公認ファシリテーターの九州支部長が登壇し、SDGsの本質理解やビジネスの可能性等今後につながる気づきの探究ができた。

12月：大阪会場とのリレーシンポジウムのスタートを担い、男女共同参画の本質や問題点に関する理解と解決へ向けたアクションへのヒントを得ただけでなく、異業種交流と学び合う場を提供し続けてきた当協議会の存在意義・存在価値を再確認できた。

②ヒーブセミナー

7月：福岡市環境局事業系ごみ減量推進課長城戸裕子氏を講師として招き、SDGs目標12に焦点を絞り、講演とワークショップを行った。

11月：ヒーブ会員（株）第一生命経済研究所主席研究員宮木由貴子氏が講師となり、「人生100年時代の“幸せ戦略”」セミナーを開催。一般参加者の年齢層が幅広く、社会課題解決への貢献にも繋がった。

(2) 月例研究会

9月：「お仕事紹介」を実施。各企業の取組みにとどまらず、専門分野で培ってきたプロフェッショナルな意識や考え方をお互いに学び合い、熱気あふれる刺激的な機会となった。

10月：電話対応技能検定（もしもし検定）4級は、会員企業の方の資質・能力向上に貢献した。

【月例研究会・公開講座】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	6月11日(火) エイムアテイン会議室	支部大会 公開講演会	◆九州支部大会 ◆公開講演会 「SDGs 入門 ～カードゲームで気づく自分と世界と未来のつながり～」 ◇南日本ハム株式会社 食育広報推進課課長 難波裕扶子氏 (2019年度九州支部長) ◆名刺交換会	支部大会 7名 公開講演会 31名
2	7月9日(火) エイムアテイン会議室	公開講演会	◆公開講演会 ・第一部 「事業系ごみについて考える～食品ロスと古紙回収」 ◇福岡市環境局 事業系ごみ減量推進課長 城戸裕子氏 ・第二部 ワークショップ	第一部 11名 第二部 9名
3	9月13日(金) 博報堂プロダクツ会議室	月例研究会	・第一部 会員お仕事紹介 ・第二部 運営委員会	第一部 6名 第二部 5名
4	10月5日(土) BASES(ベイス)福岡	月例研究会 スキルアップ セミナー	◆電話応対技能検定(もしもし検定)4級 第一部 ビジネスコミュニケーションスキルアップセミナー ◇講師 日本ハム(株)お客様サービス部 山下みどり氏 第二部 話応対技能検定(もしもし検定)4級	受験者 17名 事務局・会員 3名
5	11月15日(金) みんなの会議室	公開講演会	◆公開講演会 「人生100年時代の“幸せ戦略”」セミナー 株式会社第一生命経済研究所 主席研究員 宮木由貴子氏	一般 11名 会員 5名
6	12月4日(水) アクロス福岡円形ホール	公開講演会	◆公開講演会 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進 事業 リレーシンポジウム [男女共同参画社会の共創 ～生活者・企業・行政で創る九州の未来～ ■開演・主催者挨拶 ・内閣府男女共同参画局 政策企画調査官 上西優子氏 ・一般社団法人日本ヒーブ協議会 代表理事 梶原織梨江 ■第1部 基調講演 多様な選択を可能にする学び ～令和元年版男女共同参画白書より～ ◇講師 内閣府男女共同参画局調査課長 黒木理恵氏 ■第2部 パネルディスカッション 九州の男女共同参画社会に向けて <パネリスト> ・ハステンボス株式会社 代表取締役社長 坂口克彦氏 ・福岡市市民局 男女共同参画部長 (福岡市男女共同参画推進センター・アミカス館長) 宇出 研氏 ・内閣府男女共同参画局 調査課長 黒木理恵氏 <モデレーター> ・九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 NPO 法人日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部貴行氏 ■閉会挨拶 ・一般社団法人日本ヒーブ協議会 九州支部長 難波裕扶子 ■閉会 ■名刺交換会	89名 参加者 81名 登壇者 8名
7	2月14日(金) 博報堂プロダクツ会議室	月例研究会	◆運営委員会 情報共有・来期計画策定	3名
8	3月23日(月)	月例研究会 情報交換会	開催中止	

(6) 今後の課題

- ① 九州支部の活動ならびに組織運営が持続可能な活動となる
- ② 会員各々の役割に応じた、一人ひとりが輝ける場を意識した活動
- ③ 社会の潮流や兆しを分析し、会員企業のみならず社会が求める公開講座・月例研究会の実施

④ 会員拡大

II. 組織

2019年度は、以下の役員および運営グループ等にて運営を行い、理事会を実施し具体的な活動に取り組んだ。

【役員】

代表理事	梶原織梨江	日本生命保険（相）
副代表理事	鈴木聖子	明治安田生命保険（相）
副代表理事	中村さやか	花王（株）
副代表理事	吉村美衣子	損害保険ジャパン日本興亜（株）
西日本担当理事	藤脇智恵子	第一生命保険（株）
理事	篠かおり	アフラック生命保険（株）
理事	丹野富美恵	富国生命保険（相）
理事	中村尚美	日新製糖（株）
関西支部		
支部長	松島知子	住友生命保険（相）
副支部長	木谷あゆみ	イカリ消毒（株）
九州支部		
支部長	難波裕扶子	南日本ハム（株）
監事	林真由美	アサヒビール（株）
監事	脇田真知	（一財）サンスター財団

【運営グループ担当理事】

企画グループ	リーダー	梶原織梨江
研究会推進グループ	リーダー	鈴木聖子
組織の活性化を図るグループ	リーダー	中村尚美
調査グループ	リーダー	吉村美衣子
広報グループ	リーダー	丹野富美恵
関西支部	支部長	松島知子
九州支部	支部長	難波裕扶子

【会員数】2020年3月31日現在

正会員	73人
うち関西支部	14人
うち九州支部	6人
休会	1人
個人会員	7人
賛助会員企業数	29社
特別会員	21人

【事務局】

〒151-0053
 東京都渋谷区代々木2丁目30番4号C-002
 TEL03-6869-0428 Fax03-6300-6555
 URL <http://www.heib.gr.jp>
 E-mail: heib-jimukyoku@heib.gr.jp
 辻村智恵子、助川文緒

2019年度 収支決算報告書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

1. 一般会計

<収入の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
前 期 繰 越 金	677,121	677,121	0
会 費			
正 会 員	4,800,000	4,260,000	540,000
個 人 会 員	162,000	142,500	19,500
小 計	4,962,000	4,402,500	559,500
入 会 金			
正 会 員	150,000	0	150,000
個 人 会 員	5,000	0	5,000
小 計	155,000	0	155,000
賛 助 会 費	1,800,000	1,620,000	180,000
雑 収 入			
預 貯 金 利 息	0	81	△ 81
特 別 例 会 費	465,000	752,500	△ 287,500
そ の 他	588,000	210,350	377,650
小 計	1,053,000	962,931	90,069
収 入 合 計	7,970,000	6,985,431	984,569
総 合 計	8,647,121	7,662,552	984,569

※ 特別例会費内訳

交流会会費	東京本部	280,000
	関西支部	348,000
	九州支部	0
講演会参加費	東京本部	87,000
	関西支部	0
	九州支部	37,500

<支出の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
活 動 費 (東京・関西・九州合計)	3,740,000	2,855,312	884,688
東京	2,600,000	2,004,133	595,867
企画活動	340,000	172,062	167,938
研究会推進活動	1,170,000	972,714	197,286
組織の活性化を図る活動	165,000	56,200	108,800
広報活動	925,000	803,157	121,843
調査活動	0	0	0
関西	730,000	707,021	22,979
九州	410,000	144,158	265,842
運 営 費	4,230,000	3,855,602	374,398
地代家賃	610,000	577,200	32,800
人件費	1,750,000	1,760,801	△ 10,801
税理士報酬	360,000	360,000	0
運賃・通信費	360,000	311,287	48,713
交通費	540,000	407,879	132,121
会議費	10,000	2,268	7,732
消耗品費	240,000	187,372	52,628
印刷費	160,000	108,629	51,371
支払手数料	60,000	45,625	14,375
交際費	10,000	8,437	1,563
租税公課	120,000	86,104	33,896
雑費	10,000	0	10,000
支 出 合 計	7,970,000	6,710,914	1,259,086
当 期 剰 余 金	677,121	951,638	△ 274,517
総 合 計	8,647,121	7,662,552	984,569

貸借対照表

2020年 3月 31日現在

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

(単位：円)

資産の部		負債及び剰余金の部	
現金	10,398	預り金	36,359
普通預金	8,550,654	未払費用	123,770
前払費用	20,770	前受金	776,000
電話加入権	72,800	基本金	6,601,855
保証金	35,000	調査費積立金	200,000
		前期繰越正味財産額	677,121
		正味財産増加額	274,517
合計	8,689,622	合計	8,689,622

正味財産増減計算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額
I 増加の部	
1. 資産増加額	-
増加額合計	-
II 減少の部	
1. 資産減少額	-
減少額合計	-
当期正味財産増加額	274,517
前期繰越正味財産額	677,121
合計額	951,638

財産目録

2020年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現 金 手許有高	10,398	未払費用 3月給与	123,770
普通預金 三菱UFJ銀行原宿支店	8,075,422		
〃 〃 (関西支部)	201,415	前受金 翌期会費	776,000
〃 ゆうちょ銀行 (九州支部)	273,817	預り金 源泉所得税	36,359
前払費用			
〃 関西支部大会会場費手付	10,900		
〃 九州支部大会会場費手付	9,870	流動負債合計	936,129
流動資産合計	8,581,822		
2. 固定資産			
保証金 Y. C. S	35,000		
電話加入権	72,800		
固定資産合計	107,800		
資 産 合 計	8,689,622	負 債 合 計	936,129

監査報告書

定款第 32 条より 2019 年度の会務並びに会計につき監査を行った結果、
下記のとおり報告いたします。

記

1. 会務は滞りなく運営され、予算の執行状況は適正である。
2. 現金、預金については適正、確実に管理保管されている。
3. 帳簿および証拠書類は正確に記入、保存されている。

2020 年 4 月 6 日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

監事 脇田 真知



監事 小野 真由美

